



財界ノ集觀的趨向(下)

松崎, 藏之助

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 3(6):771-789

(Issue Date)

1907-12

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051208>



財界の集權的趨向（下）

東京高等商業學校長

法學博士 松崎藏之助

三、

世ノ工業商業ヲ論ズル者亦其「大」ニ赴クベキヲ唱ヘ手工業者小工業者小賣商人等ノ久シカラズシテ當ニ廢滅ニ歸スルヲ豫言スルヤ多シ余輩又其趨向アルヲ見ル然ラハ工業及商業モ貨幣資本ノ如ク其本然ノ性質上自ラ集中スルノ傾向ヲ有シ而シテ集中セル工業商業ハ恰モ貨幣資本ノ如ク集中スレバスル程ヨリ多クノ效果ヲ生ズルモノナリヤ是レ第一ニ討究スベキ問題ナリトス

アダム・スミスハ嘗テ其著富國論ニ於テノ生産ヲ擴張シ財富ヲ生成スルハ獨リ分業ニ存スル所以ヲ説キ有名ナル針製造ノ事例ヲ引用シテ以テ極メテ明快ニ之ヲ説明セリキ爾來動モスレバ大工業ノ優勢ヲ妄信シ而シテ其優勢ナル所以ハ偏ヘニ其「大」ナルノ致ス所ト考フル者アリ近來企業家組合又ハ「トラスト」等相次デ起

ルニ及ビ世人ヲシテ一層其然ルモノタルヲ認識セシメシガ如シ大凡小ノ大ニ敵スル能ハザルハ宇内ノ大法ナリト雖モシカモ量ノ大ハ必シモ力ノ大ヲ意味セズ故ニ他ノ條件ニシテ同ジトセバ工業又ハ工場ノ大ハ必シモ直ニ其生産力ノ大ナルヲ證スル所以ニアラザルヤ明ナリ果シテ然リトセバ分業制度ヲ採用セル器械工場ハ何ガ故ニ手工業者ノ集合ニ比シテ大ナル生産力ヲ有スルヤ

他ナシ分業ニ基ク器械工業ハ所謂貨幣資本ヲ注入シテ以テ工藝及技術ノ應用ヲ完フスルニ由ル念フニ資本ト技術工藝ト勞力トハ第二十世紀ニ於ケル生産ノ三大條件ナリ否生産ノ三大條件タルノミナラズ國民經濟ノ三大動力タラントス聞ク資本ト勞力トハ生産ノ大條件又ハ大要件タルヲ説ク者アルヲ余輩モ亦其然ルヲ信ゼザルニアラズ然レモ之ヲ既往ノ經濟史ニ照シ之ヲ將來ノ趨向ニ徵スルニ技術工藝ノ生産上且ハ經濟上ニ於ケル役回リハ決シテ以上ノ二者ニ比シテ甲乙ナキニ似タリ何ヲ以テ之ヲ言フ曰ク技術工藝ハ實ニ生産ノ組織種類方法ヲ決スルノミナラズ資本及勞力ノ用途ヲ決シカテ、加ヘテ吾人生活ノ手段タル職業ヲ生メバナリト故ニ國民經濟ノ盛衰ハ技術工藝ノ盛シニ修メラル、ト否トニ關

ハリ生産ノ擴張スルトセザルトハ其之ヲ巧ミニ應用スルトセザルトニ存スベシ
是ニ依テ之ヲ見レハ大工業ノ生産力大ナルハ獨リ其工場ノ大ナルガ爲メニアラ
ズシテ技術工藝ヲ應用スルコトノ多大ナルニ由ルヤ明ナリ

凡ソ安ク作りテ以テ高ク賣ラントスルハナベテノ生産者ノ情ナリトス技術工
藝ハ此願望ヲ達スル最良ノ手段タルヲ疑ハズ能ク此手段ヲ利用スル生産者ハ必
ズヤ成功スルニ反シテ之ヲ利用スルコト能ハズ亦假令之ヲ利用スルモ巧ナラザ
ル者ハ失敗ス而シテ成功スル者ハ賴テ以テ其企業ヲ大ニスルコトヲ得ン是レ現
今ニ於ケル生産ノ經行ニシテ亦經濟社會ノ組織ナリト云フヲ得

然ラバ此趨向ハ際限ナク其趨勢ヲ持續シテ以テ止マラザルモノナリヤ宛然貨
幣資本ノ集積シテ止マラズ其勢力ヲ増大スルコト愈々益々大ナルガ如クナルベ
キカ焉ンゾ然ランヤ余輩ハ兩者ノ間ニ於テ逕庭アルヲ認ム

抑世ノ貨幣資本ニ對スル需用ハ殆ド無涯ナリ供給愈多ケレバ需用モ亦愈多キ
ハ日常吾人ノ目睹スル處既往數千年ノ歴史ハ明カニ之ヲ證明シテ餘アリ是ヲ以
テ貨幣資本ノ集積竝ニ集中ノ道途ニ横ハル固有ノ障礙物ハ殆ンド見ルヲ得ベカ

ラズ然ルニ工業ノ集中又ハ集權的趨向ハ必シモ如上ノ如ク常ニ平々坦々タル能ハズシテ一定ノ經過ヲ逐フタル後ハ必ラズヤ一大障礙ニ遭遇セザルヲ得ズ是レ工業商業ノ發展上必至ノ數ナリ

所謂一大障礙トハ何ゾヤ他ナシ一般購賣力ノ制限サルハコト及其之ニ伴フ市場ノ形勢ノ不確定及不安ナルコト卽是ナリ
貨幣資本ヲ有スル者ハ必ズヤ其需要者ナキヲ苦マザラン然ルニ生産者ニ至テハ需要者ナキニ苦マザル者果シテ幾許カアル

米人ベラミト嘗テ近世經濟界ノ大問題タル資本家對勞働者問題ヲ捉ラヘ巧ミニ之ヲ解説セリ其說ニ依ルニ現今ノ資本的組織ノ經濟社會ニ於テ勞働者ノ生産ニ從事スルハ恰モ炎帝威ヲ逞フスル盛夏ノ日終日營々トシテ水桶ニ水ヲ盛ルモシカモ一滴モ之ヲ口ニスルヲ禁ゼラレタル可憐ノ擔夫ニ均シ水愈多クシテ溢流スルモ彼等ハ唯之ヲ傍觀スルニ過ギザルナリト vgl. Edward Bellamy, „Gleichheit“, Deutsch v. M. Jakobi. Stuttgart und Leipzig: Deutsche Verlagsanstalt 1898, 23. Capitel, S. 242 u. f.
是レ豈現今財界不振ノ一大原因ト目セラル、過剰生産ヲ形容スル好箇ノ譬喩ニ

アラザルカ現ニ衣服飲食ハ商人ノ店頭ニ堆積スルモ尙飢餓ニ泣クノ貧瘦寒婦アルニアラズヤ故ニ目下吾人ノ患トスルハ生産ノ過少ナルニアラズ否寧ロ其過多ナルヲ患トス財貨又ハ商品ノ産額少キヲ憂ヘズ却テ其多キヲ憂フルナリノユラト曰ク現今開明國ニ於テ經濟上ノ艱難不幸窮迫ノ由テ生ズル所以ハ生活ノ資料快樂又ハ是等ノ手段ヲ取得センガ爲メ材料若クハ力ノ缺乏ニアラズ寧ロ却テ其充實セルヲ經濟上ノ損失及腦苦ノ大原因ナレト、Nicht der Mangel an Mitteln des Lebensunterhaltes und der Lebensannehmlichkeit, nicht das Fehlen der Materialien sowie der Kräfte für das Beschaffen solcher Mittel ist es, woraus in der modernen Culturwelt wirtschaftliche Bedrängnis, Noth und Elend resultirt, sondern umgekehrt, die Fülle an allen Mitteln und die Fülle an Kräften ist heute, wie es scheint, die Hauptquelle grosser wirtschaftlicher Verluste und schwerer Leiden." W. Neurath, Das Haupt-Problem der modernen Volkswirtschaft. p. 5.

是ニ依テ之ヲ見レバ所謂資本家ノ貨幣資本ヲ集積スルハ固ニ合理的ナリ何トナレバ常ニ需用ノ之ヲ待ツアレバナリ之ニ反シテ工業家が技術工藝ヲ利用シテ以テ生産ノ規模經營ヲ大ニスルハ事業其物トシテハ合理的ナリト雖モシカモ之ヲ生産ノ目的ニ徴スルトキハ不合理ナルヲ免レズ何トナレバ安ク作りテ高ク

賣ラント欲スルニ當リ社會ハ決シテ其希望ニ添ハザルヲ以テナリ換言スレバ工業家ノ際限ナキ集權的供給ニ對シテハ兎テモ應ズルノ需用ナシ生産ハ合理ニ行ハレテ不合理ニ異ルサレバ現今ノ生産組織ハ供給ト需用トノ間ニ於テ解決スベカラザル一大矛盾ヲ存ス此一大矛盾ハ總テノ工業又ハ商業ヲシテ大ニ集權的ナラシメザル大障礙ナリトス

工業者商業者生産者ハ皆之ガ爲ニ苦シム而シテ此障礙ハ生産又ハ企業ノ經過ヲシテ漸ク延長セシムル結果ヲ生ゼン換言スレバ其初メ生産ニ着手スルノ時ト爾後之ヲ結了シテ以テ終ニ其結果ヲ收ムルノ時トノ間ヲシテ益長カラシメントスル傾向アリ加之市場ノ不確實ハ自ラ此間ニ伴フヲ免レズゾムバルトノ所謂先製品ノ價值ノ減少(Die Wertverminderung der Vorprodukte)ナルモノ即チ茲ニ存ス(vgl. W. Sombart, Der Moderne Kapitalismus Bd. II p. 69.)

サレバベームバヴェルクハ此理ニ賴テ以テ其ノ利子說ヲ構成セント企テ現今ノ資本的生産方法ノ特色ハ漸ク生産經過ノ延長スル所以ノ點ニ存スト云ヘリ(E. v. Böhm-Bawerk, Einige stritte Fragen der Kapitalstheorie 17.00 P. 8 ff.)

夫レ然リ豈夫レ然ラザランヤ而モ生産經過ノ延長ハ生産者ノ決シテ忍ブ能ハザル所ナルヲ以テ彼等ハアラユル方法手段ヲ講ジテ以テ其短縮ヲ圖ラントスルハ是亦吾人ノ日常目撃スル事實ナリトス此點ヨリ見レバレキシスノ言ヘリシ如ク現下ノ資本的生產ノ經過ハ寧ロ短縮スルヲ以テ一大特色ト認ムベキニ似タリ (vgl. Schmollers Jahrbuch XIX 5:332 ff.) ト雖モ余輩ハ前者ノ却テ眞ナルヲ思ハズンバアラズ蓋シ延長ハ現今ニ於ケル資本的生產ノ經過ノ固有ノ特色ナリ短縮ハ之ヲ防止スル手段ニ具ハル特色ナリ又其結果ナリ之ヲ以テ商業工業ノ成功ノ一半ハカノ供給及需用ノ道途ニ横ハル一大障害ヲ除去シ得ルト得ザルトニ由リ其一半ハ生産力ヲ増加スルトセザルトニ懸ルヤ明ナリ

四、

故ニ如上ノ大障碍ヲ除去スル手段方法ハ一トシテ殆ンド講ゼラレザルハナク是ヲ以テ其手段方法ノ發達セシ一吾人豫想ノ外ニアリ且將來益發達セントスル傾向ヲ有ス試ミニ其重ナルモノヲ掲ゲンニ運輸交通機關ハ其第一ニシテ之ニ次グハ關稅及商業政策ナリ而シテ商トナク工トナク成ルベク亦出來得ル丈早ク其

生産物又ハ商品ヲ手放サンコトヲ勉メテ殆ンド至ラザル處ナク亦忍バザル所ナキガ如シ例ヘバ往古世人ノ認メテ無用ノ事トナシ間々卑劣ノ行爲ト見做セシ廣告ノ如キ唯ニ商工業者ニトリテ缺クベカラザルノミナラズ總テノ社會ヲ通ジテ適用セラレントスル形勢アリ加之商工業者が殆ンドアラユル手段方法ヲ竭シテ以テ顧客ノ歡心ヲ買ヒ又設令之ヲ買ハザルモ尙其注意ヲ喚起セントスルハ洋ノ東西ヲ問ハズ營業ノ大小ヲ問ハズ日トシテ之ナキハナシ況ンヤ法律上非議スベキ行爲ヲ敢テシテ恬然顧ミザル者少カラザルニ於テヲヤ (vgl. W. Stieda, Unlauterer Wettbewerb in den Jahrbüchern für N. O. III. F. Bd. XI. 1896.)

獨帝ウイルヘルムハ嘗テ吾人ノ將來ハ水上ニ在リト叫破セラレタリキ實ニヤ目下強大國ノ兵備ハ往古ニ於ケルガ如ク數十百方里ノ領土爭奪ヲ目的トセズ數百千方里ノ殖民的帝國ノ建設ニアリ否數十百萬方里ノ境域ヲ有スル輸入國ノ威服ニアラズシテ那處ニカ存セン

如上ノ現象ハ其政治上タルト經濟上タルトヲ問ハズ誰カ千古未曾有ノ出來事タルヲ疑フモノアラシカモ生産者ハ尙以テ足レリトセズ終ニ法網ヲ犯シテ

スル「トラスト」ノ設立ヲ敢テスルニ至レリ左ニ少シク之ヲ説カンカナ

既ニ述べタル如ク生産者ハ安ク作りテ高ク賣ラント欲スルモ到底其目的ヲ達スルニ由ナキヲ以テ泣ク泣ク安ク賣ラザルヲ得ズ安ク賣ルノ結果舊式ノ生産業ハ日ナラズシテ廢滅セザルヲ得ザルベク之ニ代リテ興起スルモノハ日新ノ技術工藝ヲ應用スル新式ノ製造工業ニアラザレハ原料品ノ豊富ニシテ且ツヤ原動力ノ容易ニ利用シ得ラル、地方ノ生産業ナラズンバアラズ北米ビツツブルグ製鐵業ノ盛ナルハ即チ後者ノ例ニシテ獨逸及米國ノ工業製造ガ一般ニ先進國ノ壘ヲ磨セントスル勢アルハ前者ノ例ナリ況ンヤペンシルバニア州ノ製鐵業ハ漸ク落日ノ徵候ヲ呈シ目下新ニ建設セラレントシツ、アル製鐵市街「ガリー」ニシテ一旦其事業ヲ開始センカ製鐵「トラスト」ハペンシルバニアニ於ケル總テノ製鐵所ヲ閉鎖スベシト云フ者アルニ於テヲヤ果シテ然リトセハ舊式ノ製造業者ハカゝル過渡ノ境遇ニ遭遇シテ手痛キ試験ヲ經ザルベカラズ彼等ハ如何ナル方法又ハ犠牲ヲ以テシテモ尙其傳來ノ財産又ハ工場ヲ維持セント欲スルハ人情ノ常ナリ是ニ於テ彼等ハ「トラスト」ニ頼テ以テ舊來ノ營業ノ安全ヲ謀ル、營業ノ安全ヲ謀ルト云

フヨリハ寧ロ舊來ノ營業ニ對スル利得ノ保證ヲ得ンコトヲ圖ラザレバ「トラスト」ニ加盟セル舊式ノ工場ノ如キハ直チニ閉鎖サル、ト雖モ其所有主ハ依然トシテ收入ヲ得ルナリ是レ亞米利合衆國ニ於テ新式ノ製造工業ノ累起スル所以ニシテ「トラスト」ハ其賣收又ハ誘致セル小工場又ハ舊式ノ製造場ヲ無用トスルモ其發行スル株券又ハ債券ハ遙ニ組合財産ノ實價以上ニ上ルヲ以テ殆ド痛痒ヲ感ズルコトナク而シテ閉鎖セル工場主等ニ對スル割附金若シクハ配當ハ市場ノ壟斷ニ由リテ優ニ生ミ出スコトヲ得ベシ千八百九十九年ヨリ千九百二年ニ至ル迄米國ニ於テ新ニ有價證券ノ發行セラレタルコト六十億弗ニ下ラズ爾後ノ増發ハ幾百千萬ヲ以テ數フベシ而モ其半ハ「水泡」"Wasser"タルニ過ギズ(Frankfurter Zeitung, Viertes Morgenblatt, 1. Juni 1907). 最近出版ノ米國勞働局統計ニ依ルニ「トラスト」始メテ設立セラレシハ千八百九十七年ナリ今日ニ至ル迄二百五十八種ノ重要物品ノ小賣價格ノ騰貴セシコト三割六分五厘ナリト云フ是レ皆衆消費者ノ懷ヲ獵シテ以テ「トラスト」業者ノ所得又ハ地位ヲ保持スル所以ニ外ナラズ

輓近刊行セラレシ「マサチユセツト州民勢調査」(千九百五年)ハ如上ノ大勢ヲ證明

シテ餘アルヲ見ル即チ千九百年ヨリ同五年ニ至ル間ニ於テ生産額ノ増加セシコト三割ナルモ製造所ノ増加ハ僅ニ四分二厘ニ止マリ中ニ就キ製造所ノ數毫モ増加セザルノミナラズ間々其ノ減少セルモノスラアリテ三百ノ製精糖所ト殆ンド同數ノ製革所ト二百ノ製絨所及三百ノ製靴所トハ其ノ業ヲ休ミ唯屠獸所煙草製造所製紙所敷物製造所ハ増減ナキノミ然ルニ是等ノ製造業者ノ生産額ハ其間ニ於テ三十三億九千一百萬弗ノ増加ヲ呈セシト云フ殊ニ吾人ノ注意ニ値スルハ「トラスト」ノ行ハル、コト愈盛ナレバ盛ナル程生産ノ集中ハ愈益行ハル、ノ一事ナリ即生産ノ七割五分以上「トラスト」業者ニ賴テ支配サル、事業ニ在リテハ生産ノ集權最モ速ナリ石油砂糖火酒煙草鹽鐵及肉ノ七品ノ製造所ノ數ハ千九百年ニ三千四百五十タリシモ千九百五年ニハ二千九百九十トナリ畢竟スルニ一割三分ノ減少ヲ爲スト雖其生産額ハ二百七億二千九百萬弗ヨリ二百四十一億六千九百萬弗ニ増加シテ恰モ一割六分ノ増加ニ當ル而シテ「トラスト」ノ勢力旺盛ナラザル企業ニ在リテハ小工商業ノ壓倒セラル、コトカクノ如ク甚シカラズト云フ

雖然余輩ハ以上ノ現象ヲ以テ直ニ工業モ亦金融業ノ如ク同一ノ理由同一ノ步

趨ヲ以テ集權スルト斷言スルコト能ハザルナリ後者ニアリテハ物其物ノ自然ノ性質上集權スベキモノタリ之ニ反シ前者ニアリテハ集權ハ止ムヲ得ザルニ出デモト生産者ガ生産ノ經過上ニ於ケル不合理又ハ大障礙ヲ免レンガ爲メノ苦肉策ニ過ギズ而シテ眞ニ集中シ得ルハ原料品又ハ原動力ヲ得ルコト容易ナル地方ニ於テ經營セラル、事業ニアラザレハ需用ノ範圍左迄大ナラザル貨物ノ生産ノミナラントス況ンヤ原動力ノ如キハ一タビ電氣力ノ應用セラレシ以來經營ヲ一所ニ集中スルノ必用ヲ失ヒ寧ロ却テ之ヲ分賦スルノ有利ナルヲ認ムルモノアルニ於テヲヤサレバ工業商業ノ技術的集權又ハ集中ハ將來之ヲ總テノ事業ニ見ルコト能ハザルベク寧ロ却テ分裂スルモノアラシモ知ルベカラズ(目下起稿中ノ拙著「財界ノ分權的趨向」ヲ參照スベシ)

余輩ハ茲ニ特ニ技術的集權ト云フ何トナレバ工商業ニ關シテハ技術的集權ト法律的又ハ經濟的集權ヲ區別スルノ必用アルヲ以テナリ凡工場ノ敷地建物器械機關ヲ大ニシ一工場ニ於テ一時ニ多大ノ生産ヲ舉グルハ是レ技術的集權ナリ其生産タルヤ大量生産ナリ之ニ反シ設令製造所工場ヲ異ニスルモ經營ノ首腦ヲ一

ニシ同一ノ主宰者ノ下ニアリテ各自ニ各所ノ生産ヲ行フハ法律の又經濟的集權ナル「トラスト」ノ如キ寧ロ後者ニ屬スベシ

是ヲ以テ商業殊ニ工業ノ集權ニ移リ行クハ其技術的ナリト云フヨリハ却テ法律の經濟的ナリト云フヲ穩當トス是ニ於テ乎物其物トシテ自ラ一所ニ集積スル貨幣資本ハ工業資本ニ比シテ大ニ其性質ヲ異ニスルヲ知ルベシ略言スレバ貨幣資本ハ本常ニ自ラ集中スベシ之ニ反シテマルクスノ所謂 *das Warenkapital* (K. Marx, *Das Kapital* Bd. III p. 250) 又ハクラークノ *capital goods* ハ必シモ然ラズ

然リ而シテ法律的又ハ經濟的集權ハ吾人ノ謂フ所ノ資本ノ力ニ賴リテ始メテ生ズルヲ得ベシ是レ必シモ貨幣資本ノ意ニアラズ試ミニ左ニ之ヲ説明セン

五、

以上說ク所ニ依リテ之ヲ見ルニ生産ノ最モ集權的ニ赴クハ「トラスト」組織ノ工場製造所ニアリ此時ニ當リ小規模ノ生産殊ニ舊式ノ生産ハ閉止セラレテ其生産ハ新式又ハ大規模ノ工場製造所ニ轉移サルハ常トスシカモ小規模又ハ舊式ノ製造所ノ所有者ハ全然其資本ヲ失ハザルナリ彼等ハ依然トシテ一ト廉ノ資本家

タリ資産家タルナリ然ラバ其資本ハ果シテ如何ナル物ヨリナルヤ

彼等ガ從來ノ資本ノ大部分タル工場等ハ既ニ閉鎖セラレテ其用ヲ爲サルナリ是ヲシモ尙資本ト云フベキカ

嘗テ資本ヲ解スル者アリ曰ク資本トハ過去ノ生産ノ結果ニシテ將來ノ生産ニ使用サルベキ物ナリト若シ此說ヲシテ眞ナラシメンカカノ閉止セラレタル工場等ハ資本ト云フヲ得ベキヤ否ヤ疑ナキヲ得ズ何トナレバ工場ガ過去ノ生産ノ結果タル論ナシト雖モ其果シテ將來ニ於テ再ビ經營セラルベキヤ否ヤ明カニスルコト難ケレバナリ蓋シ此種ノ舊工場ノ大部分ハ再ビ利用セラルハコトナクシテ破壊セラレズンバ已マズ工場ハ破壊セラルハモ其所有者ハ依然トシテ資本家タルヲ失ハズ又設令破壊セラルハコトナシトスルモ其工場ニシテ再ビ生産ヲ行フコトナクンハ是レ資本ニアラズ何トナレバ將來ノ生産ニ用ラルベキヤ否ヤ明ナラザルヲ以テナリシカモ其所有者ハ常ニ資本家タルヲ失ハズ

是ニ於テ乎吾人ハ惑ナキ能ハズ資本ノ解釋ニシテ不可ナカランカ彼等ハ資本家タルヲ得ザルベク彼等ニシテ資本家タランカ資本ノ解釋ハ謬ラザルヲ得ザル

ベシ二者必ラズ其一ニ居ラン

余輩ヲ以テ之ヲ見ルニカノ工場主ハ資本家ナリ故ニ從來ノ資本ノ解釋ハ謬レ
リ矣

彼ノ「トラスト」ニ加盟シテ閉止セラレタル工場ノ所有主ノ資本ハ果シテ如何ナル物ヨリ成立スルヤ人若シ這般ノ事實ヲ捉ラヘ得タランニハ問題ハ立ドコロニ
氷釋スルヲ得ン

彼等ノ資本ハ過去ノ生産物ニアラザルナリ又將來ノ生産ニ用ヒラルベキ物ニ
モアラズ略言スレバ「トラスト」ノ發行セル株券又ハ債券ニシテ通常有價證券ナル
モノ即チ是ナリ否有價證券其物ニアズシテ其券面ニ記載サレタル價格ノ總額ナ
リトス彼等ハ之ヲ所有シテ以テ其券面記載ノ金額ニ對シテ一定ノ所得又ハ收益
ヲ取得スルコト恰モ小若シクハ舊式ノ工場ヲ經營シテ以テ利潤ヲ收メシ時ニ異
ルコトナシ其安逸ハ舊時ニ優ル所アルモ劣ル所ナシ

然リ余輩ハ之ヲ稱シテ券面記載ノ金額ト云フシカモ貨幣ニアラズ金銀又ハ兌換
紙幣ニモアラズ唯是ニ賴テ以テ一定ノ所得又ハ收益ヲ請求取得スル權利ヲ

意味スルニ過ギザルガ如シ人若シ此權利ダニ所有シタランニハ毫厘ノ有體財産ヲ所有セズ一毛ノ貨幣資本ヲ有セザルモ尙能ク資本家タルヲ得ルハ日常事實ノ證明スル所ニシテ誰カ亦之ヲ否定スルヲ得ンヤ此種ノ資本ハ貨幣資本其物ニモアラズ家屋ニモアラズ土地ニモアラズ商品ニモアラズ云ハハ此等ノ物ヨリ離レテ而シテ存在スルト云フノ穩當ナルヲ見ル

故ニ曰ク資本ノ特質ハ其抽象的價格ニ存スト

唯夫レ抽象的ナリ故ニ其分合離散ハ極メテ容易ナリ「トラスト」「工業ノ大」ニ赴クハ所謂資本ノ抽象的價格タル所以ノ理ニ由ル焉ンゾ實象的資本ノ合同ヲ俟テ而シテ後始メテ集權スト云ハンヤ

而シテ如上ノ資本ハ容易ニ集中スルヲ得ルノミナラズ其性質上自ラ集中スル趨向ヲ有スルコト貨幣資本ニ異ルコトナシ余輩ハ却テ其趨向ノ大ナルヲ信ゼズンバアラズ加之其大ナルニ從ヒ愈々益々其「力」ヲ増大スルコト亦貨幣資本ニ異ルコトナシ

是ヲ以テアラユル工業商業ハ皆大ニ赴クト云フハ不可ナリ殊ニ工業其物ハ必

シモ常ニ大ニ赴クモノニアラズ又必シモ大ナル能ハザルコトアリ而シテ其大ナルハカノ生産ノ經過上ニ於ケル一大障礙ヲ避ケンガ爲メ止ムヲ得ザルノ通路ノミ是ヲカノ貨幣資本ノ自ラ集權的ニ赴クトハ自ラ其趨趣ヲ異ニスベシ而シテ此止ムヲ得ズシテ集權スルニ當リテヤ多クハ余輩ノ所謂抽象的資本ノ力ヲ借リテ以テ始メテ成ルヲ見ル

マルクス言ヘルアリ曰ク貨物ノ轉回ハ資本ノ出發點ナリト而シテ W-G-W- 及 G-W-G ナル定式ヲ以テ此轉回ノ經行ヲ表ハセリ (vgl. K. Marx, Das Kapital, 4 Aufl. Bd. I. P. 109 ff) 蓋シ W ハ貨物ヲ示シ G ハ貨幣ヲ指シ以テ貨物ハ變ジテ貨幣トナリ貨幣ハ更ニ變ジテ貨物トナルカ然ラザレバ貨幣ニ始マリテ亦貨幣ニ終ル變化^{（エンゲ）}ノ二途アルヲ説キ以テ其變化アル毎ニ資本ノ増殖スル所以ヲ明ニセントセリサレバ氏ハ結論シテ曰ク „Die Bewerthung des Kapitals ist daher masslos.“ (Ebendasselbst S. 115) 顧フニ氏ハ之ニ賴テ以テ資本ノ力無限ナルヲ證シ其ガ勞働者ノ懷ヲ掠ムルモノタル所以ヲ主張セシナリ此場合ニ於テ貨幣其物ヲ以テ直ニ資本ヲ妄斷セザリシハ天晴ノ見識ナリト雖モ未ダ抽象的資本ノ存在ニ思ヒ及バザリシハ一大缺點タルヲ免

レズ氏ニシテ一旦茲ニ思ヒ及バ、其資本家ヲ排撃スルコト更ニ一層ノ甚シキモノアリシナラン

實象的ノ資本ニ比シ抽象的資本ノ勢力又ハ效力ノ「大」ナルハ實ニ工業又ハ商業ヲシテ「大」ナラシムル所以ノ最要原因タリ二者ノ集權的趨向ヲ呈スルハ主トシ此力ニ賴ラズンバアラズジュー・ビー・クラーク曰ク「There is, indeed, no limit to the ultimate power of capital, by changing its forms of embodiment, thus to change its place in the group-system of industry」ト(V. J. B. Clarks. The Distribution of Wealth Ch. IX.)サレバ氏ハ資本ノ種類及效力ヲ論ズルコト割合ニ詳ナリト雖惜ムラクハ未ダ如上ノ理ニ思ヒ及バザリシヲ去ンヌル八月亞米利加合衆國大統領ルーズベルトハ明カニ「トラスト」征伐ヲ宣言シ次テ獨逸ノスツツガルト府ニ開カレタル萬國社會黨大會ハ亦大資本家大企業家ノ撲滅ヲ提言セリ一ハ保守的共和主義ノ主權者——一ハ社會黨ノ主權者——是レ豈好個ノ反照ニアラズヤ(Le capitalisme, c'est l'ennemi.)

富ノ亂用ノ弊ヤ決シテ少カラズトセズ人若シ之ヲ矯メント欲セバ先ヅ其由ヲ生ズル所以ノ原因ヲ窮メザルベカラズ徒ラニ大工業又ハ大企業ノ弊ヲ喋々スル

ガ如キ少シク失當ナルナカラシカ是レ余輩ノ說アル所以ナリ

余モト財界ノ集權的及分權的趨向ヲ併セ論ゼント欲シタリキ然モ稿ヲ重ヌルニ從ヒ豫期以上ノ長キニ亘レリ故ニ一ト先ヅ集權的趨向ヲ以テ完稿スルコト、セリ他日機ヲ得バ再ビ秃筆ヲ呵シテ讀者諸君ニ見ユルノ時アラシ但シ分權的趨向ハ宗教道德及經濟政策ニ關スルコト多キヲ以テ其要ハ遙ニ本論文ノ上ニアルベシ

著 者 再 識